

国際交流基金（JF）
ベルリン日独センター（JDZB）

シンポジウム

「ツーリズムを再考する」
課題・トレンド・持続可能性を見据えた日独の視点

2025 年 3 月 19 日（水）
18 時～21 時 日本時間 / 10 時～13 時 中央ヨーロッパ時間

登壇者紹介

基調講演者

矢ヶ崎 紀子（Prof.）
アンナ・クライン（Prof. Dr.）

好事例紹介

（アルファベット順）

ラヤナ・ゲープハルト
シェー・ファン
ブラッド・トウル
ダニエラ・ヴィーゼ

パネルディスカッション

（アルファベット順）

ディーター・ヤネチェク
アンナ・クライン（Prof. Dr.）
若松 務
矢ヶ崎 紀子（Prof.）

矢ヶ崎 紀子

東京女子大学現代教養学部教授



九州大学大学院法学府政治学専攻修士課程修了。住友銀行、日本総合研究所総合研究部門上席主任研究員、国土交通省観光庁参事官（観光経済担当）（官民人事交流）、首都大学東京都市環境学部特任准教授、東洋大学国際観光学部教授を経て、2019年4月から現職。

国土交通省交通政策審議会委員（2013-2023年）、観光分科会長（2019-2023年）、文化庁文化審議会臨時委員（2021-2023年）、観光庁観光地域づくり法人の機能強化に関する有識者会議座長、北海道観光審議会委員、長野県観光審議会委員、京都市観光振興審議会委員ほかを務める。

アンナ・クライン

Prof. Dr. Anna Klein、IU 国際応用科学大学ミュンヘン・キャンパス観光経済学教授

IU 国際応用科学大学ミュンヘン・キャンパスにて観光経済学の教授を務め、同校のアカデミック・リージョナル・マネージャーも兼任。ドイツ連邦政府観光問題諮問委員会およびバイエルン州観光センター（BZT）学術諮問委員会のメンバーでもある。持続可能な観光、デスティネー

ション・マネジメント、観光のデジタル化を専門とする。また、ベルリンの観光レクリエーション・コンサルティング会社「Büro für Tourismus- und Erholungsplanung」のシニアコンサルタントとして東欧・南東欧の国際プロジェクトを担当し、観光分野で長年の実務経験を有する。





シェー・ファン

謝 璠、一般社団法人キタ・マネジメント事業課
観光誘客係長、愛媛県 大洲市

台湾出身。大学で日本語を専攻し、卒業後、台北で約3年間アートマネジメントの仕事に従事。2016年より1年間、ワーキングホリデーを通して日本各地の観光地で勤務。日本での生活に魅了され日本への移住を決意。大阪でのホテル業務を経験する中で、日本の地方の価値を感じ、愛媛県大洲市にある「キタ・マネジメント」の取組に興味を持つ。転職を機に2021年に大洲市へ移住。現在は同法人の事業課観光誘客係長としてインバウンド向けサステナブル・ツーリズム商品造成などを担当。

ラヤナ・ゲープハルト

Lajana Gebhard、アルゴイ有限会社サステナビリティ担当オフィサー、南ドイツ・アルゴイ地方

1994年、アルゴイ地方生まれ。アウクスブルクとフライブルクにて持続可能性、環境教育、自然保護を専門に地理学を学ぶ。大学卒業後、ミュンヘン近郊のフェルステンフェルトブルック郡で地域管理、東アルゴイ郡でモビリティ管理に従事。さらに、持続可能な開発のための教育（ESD）のコンサルタントとしての研修を修了。2024年11月に地元アルゴイ地方に戻り、アルゴイ有限会社にてサステナビリティ担当オフィサーに就任。環境教育、自然観光、モビリティなどの持続可能性の分野を担当している。





ブラッド・トウル

Brad Towle、一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューローマネージャー、世界遺産「熊野古道」

カナダ出身。2006 年より現職。世界遺産の熊野古道の再生・活性化をコミュニティの視線で推進し、地方における持続可能な観光の新しいモデルを提起している。

ダニエラ・ヴィーゼ

Daniela Wiese、レーゲンスブルク・ツーリズム有限会社マーケティング部長（MICE マーケティング / 国際マーケティング）、サステナビリティ担当マネージャー、世界遺産都市レーゲンスブルク

ケンプテン応用科学大学にて観光学を専門とする経営学の学位を取得。また欧州品質管理財団の公認評価者としての研修を受ける。持続可能性の分野において、イベント部門のサステナビリティ・マネージャーおよびサステナビリティ・コンサルタントとして高い評価を得ている。

これまでの職歴は国際的な高級ホテルチェーンのホテル代表、オーバープファルツ湖水地方のマネジメント、そして数々の販売活動と多岐にわたる。2006 年以来、アモンド社の協力のもと「Reisen Wiese」として独立し、旅行コンサルタントとして活躍。2011 年からはレーゲンスブルク・ツーリズム有限会社で MICE マーケティングを担当し、2014 年からはレジャー部門で国際・外国語マーケティングを、2020 年からはマーケティング部長を兼務している。また、同社のサステナビリティ担当マネージャーでもある。



ディーター・ヤネチェク

Dieter Janecek、ドイツ連邦政府海事産業・観光担当
コーディネーター

ディーター・ヤネチェクは 20 年以上にわたり、政治、ビジネス、コミュニケーションが交差する分野で活躍している。広報コンサルタント（2001-2003 年）を経て、緑の党バイエルン支部の党内コミュニケーション担当（2003-2005 年）、同事務局長（2005-2008 年）を歴任。2008 年から 2014 年まで緑の党バイエルン支部長を務めた。

2013 年以来、ドイツ連邦議会議員として経済・デジタル政策に精力的に取り組んでいる。経済政策報道官（2013～2017 年）、デジタル経済・デジタル変革報道官（2017～2019 年）、産業政策・デジタル経済報道官（2019～2021 年）を歴任。2021 年から 2022 年まで経済作業部会を率いた後、2023 年 1 月からドイツ連邦政府海事産業・観光担当コーディネーターを務める。

連邦議会での活動に加え、オーバーバイエルン県議会議員（2008～2013 年）、ミュンヘン市ノイハウゼン＝ニンフェンブルク区議会議員（2010～2013 年）として地方政治にも関与。また、バイエルン自然保護団体「Bund Naturschutz in Bayern e.V.」およびビール充填量の不正に反対する会「Verein gegen betrügerisches Einschenken」のメンバーでもあり、環境保護と消費者保護に尽力している。



若松 務

独立行政法人日本政府観光局 理事

1992 年に慶應義塾大学法学部を卒業、同年 4 月に日本航空株式会社に入社し、メキシコ支店や経営戦略部、北海道地区総務部勤務を経て 2020 年 5 月より米州地区支配人室ダラス支店長を務め、3 年間の米国生活を経験。2023 年 10 月より現職。

高付加価値旅行、アドベンチャートラベル、サステナブル・ツーリズム等のテーマ特化型プロモーションを行う市場横断プロモーション部、並びに、国際会議やインセンティブ旅行といった MICE の日本誘致を行う MICE プロモーション部の担当理事として、自身も Adventure Travel World Summit 2024（パナマシティ開催）を始めとする国際的イベントに参加、観光立国の推進に携わる。

